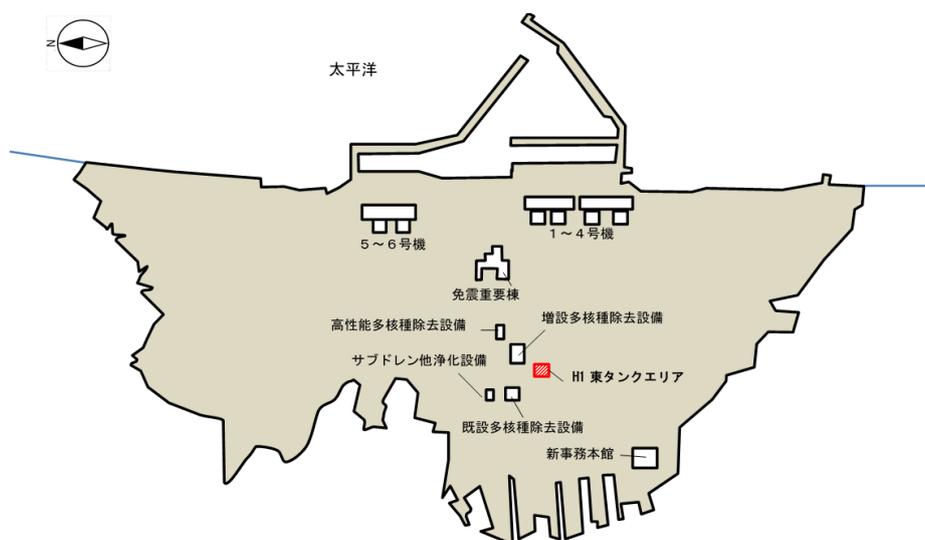


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和4年7月29日（金）
- 2 確認箇所  
H1東タンクエリア
- 3 確認項目  
H1東タンクエリアにおけるタンク位置ずれ等の対応状況
- 4 確認結果の概要

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震（マグニチュード7.3、立地町震度6弱）により、タンクや移送配管等からの漏えいはなかったものの、複数のタンクエリアでタンクの位置ずれ等が発生したことが確認された。東京電力では位置ずれが確認されたタンクの連結管の詳細調査を実施し、メーカー推奨変位値（偏心：150mm 伸縮：±50mm）を超える変位が確認された連結管については、水抜きをして取り外すと同時に閉止措置を行うなどの対応を実施するとしていることから、今回はH1東タンクエリアにおける対応状況を確認した。（図1）

- ・ H1東タンクエリアでは8本の連結管においてメーカー推奨変位値を超える変位が確認されていたが、8本全ての連結管が取り外され、弁は金属製のカバーで覆われていること、また、取り外された部位から水の漏えいがないことを確認した。（写真1）
- ・ 現地確認時、地震により破損した雨樋配管の修繕が実施されていた。（写真2）



（図1） 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
変位が確認されなかった連結管の例



(写真1-2)  
変位が確認され、取り外された連結管の例



(写真2-1)  
雨樋配管の修繕の状況①  
(雨樋配管修繕の状況①)



(写真2-2)  
雨樋配管の修繕の状況②  
(雨樋配管修繕の状況②)



(写真 2 - 3)  
雨樋配管の修繕の状況③  
(取り外された雨樋配管)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。